

令和6年度茨城県高等学校男女バレーボール新人大会 開催要項

主催 茨城県高等学校体育連盟・茨城県教育委員会
 主管 茨城県高等学校体育連盟バレーボール専門部

1. 開催期間 2025年1月23日(木)から1月25日(土) 選手入館 (1/23, 24)9:00以降 (1/25)8:30
2. 会場 霞ヶ浦文化体育館(水郷体育館) 2面【A, Bコート】 役員入館 7:30
 土浦市大岩田 1051 TEL 029-823-4811(直)
- 茨城電設スポーツアリーナ石岡 2面【C, Dコート】 役員入館 8:30
 石岡市南台三丁目 34-1 TEL 0299-26-7210
- 霞ヶ浦高等学校体育館 2面【E, Fコート】 役員入館 7:30
 稲敷郡阿見町青宿 50 TEL 029-887-0013/4755

3. 参加資格 (1)学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
 (2)令和6年度茨城県高等学校体育連盟に加盟し、(公財)日本バレーボール協会に高等学校の生徒として有効に登録されたチームであること。
 (3)2006年4月2日以降に生まれたものとする。
 ただし、出場は同一競技2回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。
 (4)チーム編成において、全日制課程に定時制課程、通信制課程の生徒の混成は認めない。
 (5)「部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」にしたがって、合同チームの大会参加を認める。
 (6)転校後6ヶ月未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)
 ただし、一家転住等やむをえない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。
 (7)県大会実施規定により、前回大会のベスト8チームならびに、各地区代表チームとする。
 (男子)シード(8)+北(2)+水(4)+東(2)+南(5)+西(7) 計28チーム
 (女子)シード(8)+北(3)+水(5)+東(3)+南(7)+西(6) 計32チーム
 (8)14名の選手のうち外国人留学生は2名までエントリーできるが、コート内でプレーできる選手はその内の1名に限る。

4. 競技規則 2024年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
 ネットの高さは、男子2m43cm・女子2m24cmとする。

5. 競技方法 決勝トーナメント戦とする。全試合3セットマッチとし、3位決定戦は行わない。

競技日程

- 第1日 1月23日(木) 男子1回戦・2回戦【A, B, C, Dコート】
 第1試合 第2試合 第3試合 第4試合 第5試合
 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00
 ※試合設定時間を超える場合は10分間の練習後プロトコール
- 第2日 1月24日(金) 女子1回戦・2回戦【A, B, C, Dコート】
 第1試合 第2試合 第3試合 第4試合 第5試合 第6試合
 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00
 ※試合設定時間を超える場合は10分間の練習後プロトコール
- 第3日 1月25日(土) 男女準々決勝・準決勝・決勝【男子E, Fコート・女子A, Bコート】
 第1試合 9:30 第2試合は第1試合終了30分後プロトコール(男子)
 第1試合終了15分後プロトコール(女子)
 第3試合は第2試合終了30分後プロトコール
 決勝は遅く終了した準決勝の終了時間から30分後プロトコール

6. 大会使用球 本大会は男子がミカサ製V300W、女子がモルテン製V5M5000を使用する。

7. チーム構成 (1)監督、コーチ、マネージャー各1名、選手14名、計17名以内とする。ただし、選手は18名まで申し込むことができる。そして、試合毎に14名をエントリーすることができる。
 (2)監督は当該校の教職員とし、コーチは当該校の教職員・生徒または外部コーチとする。
 マネージャーは当該校の教職員・生徒とする。部活動指導員は教職員に含まれる。
 (3)外部コーチは規定を満たし、茨城県高体連バレーボール専門部長が認めたものとする。
 (4)リベロプレーヤーの登録は下記表のとおりとする。

チーム登録人数	リベロ登録数
12名以下	0～2名
13～14名	2名

8. 出場手続き 参加申込書を茨城県高体連バレーボール専門部公式ウェブサイトからダウンロードし、職印のあるものを作成して各地区委員長に提出する。各地区委員長はそれらを抽選会時に持参する。
9. 抽 選 会 第 77 回全日本バレーボール高等学校選手権大会茨城県予選会のベスト 8 をシードチームとする。茨城県高体連バレーボール専門部と同競技委員会が連携して行い、結果は茨城県高体連バレーボール専門部公式ウェブサイトに公開する。
出場チームによる抽選、または各地区委員長による代理抽選とする。
日時 2025 年 1 月 10 日(金) 時間 10:00～
会場 茨城県立水戸桜ノ牧高等学校 茨城県水戸市小吹町 2070 番地 TEL 029-243-3644
10. 開・閉会式 実施しない。
ただし、令和 6 年度茨城県高体連バレーボール専門部優秀選手表彰式を、男子 1/23(木)、女子 1/24(金)、9 時 15 分より各会場のメインアリーナで実施する。
優秀選手に選出された選手は、所属するチームが出場する会場に出席すること。
※チームがエントリーしていない場合は、霞ヶ浦文化体育館(水郷体育館)に出席すること。
11. 表 彰 式 男女とも第 3 位(4 チーム)までを表彰する。決勝戦終了後にメインアリーナで行う。
ベスト 4 のチームは必ず参加すること。
12. 受 付 会場入館後にフロア内の大会本部にて行う。
第 1・2 日 試合設定時間の 40 分前までに完了すること。
ただし、第 1 試合のコートオフィシャルを担当するチームは、第 1 試合の試合設定時間 30 分前までに完了すること。
第 3 日 全チーム 9 時 00 分までに完了すること。
13. エントリー変更 男女の大会初日受付時とする。これ以降の変更は認めない。
14. コートオフィシャル ラインジャッジ 4 名・点示 4 名・スコアラー 1 名・アシスタントスコアラー 2 名とする。
第 1 日 第 1 試合のコートオフィシャルは第 3 試合のチームが担当する。(6 名ずつ)
第 2 試合以降のコートオフィシャルは前の試合の敗者チームが担当する。
第 2 日 第 1 試合のコートオフィシャルは第 3 試合のチームが担当する。(6 名ずつ)
第 2 試合以降のコートオフィシャルは前の試合の敗者チームが担当する。
第 3 日 第 1 試合のコートオフィシャルは第 2 試合のチームが担当する。(6 名ずつ)
第 2 試合以降のコートオフィシャルは前の試合の敗者チームが担当する。
決勝戦の補助員は、準決勝で敗退した 2 チームが担当する。(5 名ずつ)
15. そ の 他 (1) 監督、コーチ、マネージャーは規定のマークを明確に判別できる位置につけること。
外部コーチ、トレーナーは、競技フロア内において必ず ID カードをつけること。
(2) ベンチスタッフの服装は、JVA の公認するメーカー製を着用することが望ましい。
選手と異なるトレーニングウェアを着用する場合、統一されたものを着用することが望ましい。(生徒スタッフ以外は T シャツ・ハーフパンツ等不可)
(3) 選手のユニフォーム・シューズ・サポーターは、JVA の公認するメーカー製が望ましい。
また、ユニフォームのチーム名は登録したチーム名またはそれを表す略称名であること。
リベロプレーヤーはチームの他の競技者とははっきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともゲームシャツだけは)を着用しなければならない。(左右対称とか上下対称ということではなく、はっきりと区別できるデザインであること。)
※詳細は「高体連主催大会におけるユニフォーム規定について」を参照。(公式サイト掲載)
(4) ソックスは色、長さが統一されていること。
(5) アンダーウェアはユニフォームの袖・裾等からはみ出さないこと。
ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは、故意に見せるものでない限り制限されない。
(6) 腰に带状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用すること。
(7) ベンチには飲料水、救急用具等以外は持ち込まないこと。
(8) 横断幕はコート表示にかからないようにし、フロアから座席が見えるように設置すること。
また、競技エリア内に垂れ下がらないようにすること。
(9) コートワイピングはコート内の選手か、チームが準備したクイックモップが行うこと。
(10) 選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分に留意すること。なお、競技中の負傷については応急処置を行うが、それ以降の責任は負わない。
(11) 地震、風水害等自然災害及び感染症・伝染病等により大会が中止される場合もある。

令和6年度茨城県高等学校男女バレーボール新人大会

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 役員集合時間およびネットの設営について

役員ミーティング終了後、各コートを担当する競技委員、審判員が連携し、それぞれのコートのネットを設営する。表彰式、練習開始時間までに、ネットの設営を完了する。

日程	体育館	役員入館	役員 MTG	選手入館	ネット設営完了
1/23(木)	霞ヶ浦文化	7:30	8:00	9:00	9:15(表彰式)
	石岡	8:30	役員入館完了後		
1/24(金)	霞ヶ浦文化	7:30	8:00	9:00	9:15(表彰式)
	石岡	8:30	役員入館完了後		
1/25(土)	両会場	7:30	8:00	8:30	8:45(練習開始)

2. 試合間の練習及び試合開始時間等について

(1) 1/23(木)、24日(金) 男女第1日

開館後の練習はできない。表彰式終了まで、メインアリーナの競技エリア外か2階観客席で待機(観覧)すること。

第1試合のチームは表彰式終了後からコートを使用できる。ボール使用の制限はない。

サブアリーナは表彰式終了後から使用できる。次の試合のチームの練習会場とする。ボール使用の制限はない。

コート間の使用はできない。空いているコートを使った練習はできない。

前の試合終了後は、コートチェック(競技)、ネットチェック(審判)の完了まで、エンドゾーンでボールを使用しないウォーミングアップができる。各チェックの完了後にコートを使用できる。ボールの使用は試合設定時間 21分前からとする。

各チェック完了から 21分後の時間が試合設定時間を超える場合は追い込み方式とする。追い込み方式の場合は、各チェックの完了から 10分後プロトコールとする。

(2) 1/25(土) 男女第2日

ミーティング終了後、各コートを担当する競技委員、審判員が連携し、それぞれのコートのネットを設営する。練習開始時間までに、ネットの設営を完了する。

第1試合のチームは 8:45 からコートを使用できる。ボール使用の制限はない。9:15 にコートチェックを行い、9:19 プロトコールとする。

第2試合の練習及び試合開始時間は以下の通りとする。

●男子(霞ヶ浦高等学校体育館)

サブアリーナが使用できないため、第1試合終了 30分後プロトコールとして練習時間を設ける。ボール使用の制限はない。

●女子(霞ヶ浦文化体育館)

第2試合のチームは 8:45 からサブアリーナを使用できる。ボール使用の制限はない。
第1試合終了 15分後プロトコールとする。

前の試合終了後は、コートチェック(競技)、ネットチェック(審判)の完了まで、エンドゾーンでボールを使用しないウォーミングアップができる。各チェックの完了後にコートを使用できる。ボールの使用はプロトコールの時間が決定後とする。コート間の使用はできない。空いているコートを使った練習はできない。

第2試合はコートオフィシャルを担当した選手の準備を考慮して、プロトコールの時間を決定する。

準決勝は第2試合の終了時間から 30分後プロトコール、決勝は遅く終わった準決勝の終了時間から 30分後プロトコールとする。

3. コンポジションシートの記載及び提出について

リベロプレーヤー欄は記載せずに提出する。リベロプレーヤー欄の記載は、監督がスコアシートにサインをする際に行う。監督は番号のみを記載し、スコアラーが選手名を上段から転記する。

4. 感染症による出席停止に伴うエントリーの特例措置について

標記の理由により選手のエントリーが6人を満たさなくなった場合は、エントリーの変更(追加)を認める。ただし必ず学校長(合同チームの場合は構成するすべての学校)の承認を得ること。高体連及び JVA-MRS への追加登録が必要な場合はそれらを行い、大会当日までにエントリー変更届と登録完了を証明する書類を大会本部へ持参すること。

5. 不戦勝の取り扱いについて(男女第1日)

(1) 前日までに棄権の申し出があった場合

該当の試合は実施しない。大会本部(地区委員長)から、不戦勝となるチームの責任者に連絡が入る。不戦勝のチームは、次に自チームが実施する試合の設定時間に合わせて受付をすること。試合設定時間の変更は行わない。

該当の試合が第1試合の場合、第2試合のコートオフィシャルは第4試合のチームが担当する。担当する第4試合のチーム責任者に大会本部(地区委員長)から連絡が入る。この場合、第4試合のチームは10:30までに受付を完了すること。

該当の試合が第2試合以降の場合、次の試合のコートオフィシャルは不戦勝となる前の試合の敗者チームが担当する。(例)第1試合(実施)→第2試合(不戦勝)→第3試合(第1試合敗者が担当)

ただし、該当の試合が第3試合の場合は、第3試合は出場チームの意向により、通常通りのプロトコールを実施してもよい。(棄権しないチームは第1試合のコートオフィシャルを担当した後の初戦が第5試合となるため。)この場合、第3試合のスコアラーと第4試合のコートオフィシャルは第2試合の敗者チームが担当する。

不戦勝が成立後は、次の試合のチームがコートを使用できる。

(2) 当日に棄権の申し出があった場合

通常通りのプロトコールを実施する。不戦勝のチームは試合前10分と公式ウォームアップ11分の計21分間の練習を行い、練習終了後にチームキャプテンがスコアシートにサインを行い成立とする。コンポジションシートを提出し、練習はユニフォームを着て実施すること。

不戦勝が成立後は、次の試合のチームがコートを使用できる。

該当の試合が第1試合の場合、第2試合の補助員は不戦勝のチームが担当する。第1試合のスコアラーは第3試合のチームが担当する。

該当の試合が第2試合以降の場合、次の試合のコートオフィシャルは不戦勝となる前の試合の敗者チームが担当する。不戦勝になる試合のスコアラーも担当する。(例)第1試合(実施)→第2試合(不戦勝)→第3試合(第1試合敗者が担当)

(3) 棄権チームが複数となった場合

大会本部が実施方法を協議する。大会本部(地区委員長)から、試合の進行に影響が及ぶチームの責任者に連絡が入る。

※男女第2日に棄権があった場合は、「(2)当日に棄権の申し出があった場合」に準じて試合を実施する。